

工事番号

(様式 - 1)

市長		副市長		部長		課長		係長		係		設計者			
----	--	-----	--	----	--	----	--	----	--	---	--	-----	--	--	--

令和 6 年度

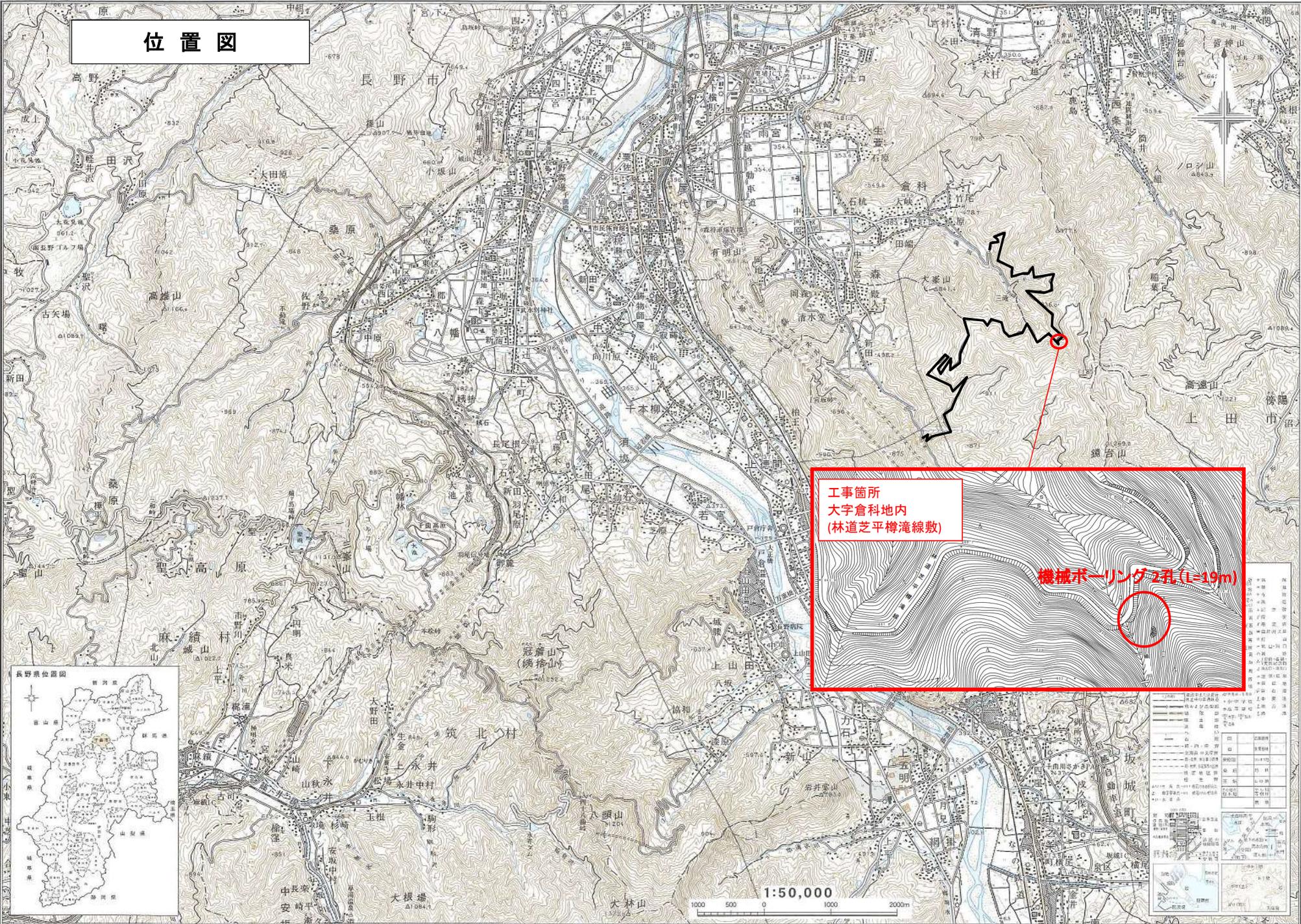
農山漁村地域整備交付金事業
林道芝平樽滝線 調査・設計業務委託

閲覧設計書

千曲市 大字 倉科

設 計 大 要	施 工 方 法	委 託
【一般調査】 機械ボーリング L=19m 標準貫入試験 N=19回 【解析等調査】 地質解析 N=1業務 【法面工設計】 予備設計 N=1箇所 詳細設計 N=1箇所	施 工 期 間	120 日間
	起工予定年月日	令和 年 月 日
	竣工予定年月日	令和 年 月 日
	契約保証方法	

位置図



工事箇所
 大字倉科地内
 (林道芝平樽滝線敷)

機械ボーリング孔(L=19m)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(簿籍番号 平2004地 第28号)

委託事業費総括表

施行期間	自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日		自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日		(120日間)
幅 員	3.6m 4.0m	延 長	11,167m m	施行区間	自 千曲市 大字 倉科 至 自 至

		当初(前回)設計	変更(今回)設計	摘 要
延 長 等		19 m	- m	
業務価格	一般調査業務価格	円	- 円	一般調査費 内訳表のとおり
	コンサルタント的業務価格	- 円	- 円	コンサルタント的調査費
	測量等業務価格	- 円	- 円	測量等業務費
	設計等業務価格	円	- 円	解析・設計等業務費 内訳表のとおり
	合 計	円	- 円	
落 札 率		- %	- %	
委託額	委託契約額	- 円	- 円	
	うち消費税相当額	- 円	- 円	

総括情報表

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	61 千曲市 0 1 実施単価 53 1 4 北信(1) 07.06.01		
発注区分 消費税率(%)	当 世 代 41 一般 10 %	前 世 代	

地質・土質調査費

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
地質・土質調査費						
一般調査			式			
直接調査費			式			
機械ボーリング			式			
土質ボーリング オールコアボーリング 66mm レキ混じり土砂 鉛直下方	4		m			施工 第0 -0001号表
岩盤ボーリング ボーリング径 66mm 軟岩 鉛直下方	15		m			施工 第0 -0002号表
サウンディング及び原位置試験			式			
標準貫入試験 レキ混じり土砂	4		回			施工 第0 -0003号表
標準貫入試験 軟岩	15		回			施工 第0 -0004号表

地質・土質調査費

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
資料整理とりまとめ（直接調査費分） 土質ボーリング0本 岩盤ボーリング2本	1		業務			施工 第0 -0005号表
断面図等の作成（直接調査費分） 土質ボーリング0本 岩盤ボーリング2本	1		業務			施工 第0 -0006号表
直接経費			式			
電子成果品作成費			式			
電子成果品作成費 機械ボーリング等市場単価 直接調査費は成果品作成費・検定費を除く	1		式			施工 第0 -0007号表
** 直接調査費 **						
** 運搬費 **						
3t車（2.9tクレーン付き） 資機材運搬 往復24km	4		回			施工 第0 -0008号表
モノレール架設・撤去・運搬 運搬総重量2.8t 供用日数7.3日 調査 箇所	1		箇所			施工 第0 -0009号表

地質・土質調査費

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モノレール架設・撤去・運搬 運搬総重量 2.8 t 供用日数 8.1 日 調査 箇所	1	箇所			施工 第0 -0010号表
準備費					
準備及び跡片付け	1	業務			施工 第0 -0011号表
調査孔閉塞	2	箇所			施工 第0 -0012号表
給水費（ポンプ運転） 2.0 m以上 15.0 m以下	2	箇所			施工 第0 -0013号表
仮設費					
傾斜地足場 地形傾斜 15度以上～30度未満	1	箇所			
傾斜地足場 地形傾斜 45度以上～60度	1	箇所			
施工管理費					

* * 地質・土質調査費 * *

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工管理費(出来高及び工程管理写真等)						
直接調査費は地盤情報DB検定費を除く	1		式			施工 第0 -0014号表
* * 間接調査費 * *						
* * 純調査費 * *						
* * 諸経費 * *						
* * 調査業務価格計 * *						
* * 消費税等 相当額計 * *						
* * 調査業務費計 * *						

施工内訳表

モノレール架設・撤去・運搬
運搬総重量 2.8 t

供用日数 7.3日

施工 第0 -0009号表

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
モノレール運搬 総運搬距離 50m超～100m以下	2.800	t			
モノレール架設・撤去 50m以下	1.000	箇所			
モノレール機械器具損料 50m以下	7.300	日			
*** 単位当り ***	1	箇所			
総運搬距離：総運搬距離 50m超～100m以下 運搬総重量 (t) : 2.8			設置距離：設置距離 50m以下 供用日数 (日) : 7.3		

施工内訳表

モノレール架設・撤去・運搬
運搬総重量 2.8 t

供用日数 8.1 日

調査箇所

施工 第0 -0010号表

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
モノレール運搬 総運搬距離 50m超～100m以下	2.800	t			
モノレール架設・撤去 50m以下	1.000	箇所			
モノレール機械器具損料 50m以下	8.100	日			
*** 単位当り ***	1	箇所			
総運搬距離：総運搬距離 50m超～100m以下 運搬総重量 (t) : 2.8			設置距離：設置距離 50m以下 供用日数 (日) : 8.1		

総括情報表

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	61 千曲市 0 1 実施単価 53 1 4 北信(1) 07.06.01		
設計委託区分 消費税率(%) 発注区分 電子成果品作成費区分	当 世 代 01 設計・解析(技術経費無) 10 % 41 一般(建設コンサルタント) 02 その他設計業務	前 世 代	

地質・土質調査費（技術解析）

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
地質・土質調査費（技術解析）						
解析等調査			式			
直接業務費			式			
解析等調査			式			
計画準備						
機械ボーリング（計画準備）	1		業務			施工 第0 -0001号表
地質解析						
既存資料の収集・現地調査 土質ボーリング0本 岩盤ボーリング2本 電子成果品作成費対象外	1		業務			施工 第0 -0002号表
資料整理とりまとめ（解析等調査業務費分） 土質ボーリング0本 岩盤ボーリング2本 電子成果品作成費対象外	1		業務			施工 第0 -0003号表

地質・土質調査費（技術解析）

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面図等の作成（解析等調査業務費分）						
土質ボーリング0本						
岩盤ボーリング2本						
電子成果品作成費対象外	1		業務			施工 第0 -0004号表
総合解析とりまとめ						
試験種目 0～3種						
土質Bo0本 岩盤Bo2本						
電子成果品作成費対象外	1		業務			施工 第0 -0005号表
** 直接人件費等 **						
** 電子成果品作成費 **						
その他設計業務						
** 直接経費 **						
** 直接原価 **						
** その他原価 **						
** 設計業務原価 **						
** 一般管理費等 **						

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 内業	1.500	人			
技師（A） 内業	2.500	人			
技師（B） 内業	2.500	人			
技師（C） 内業	2.000	人			
*** 単位当り ***	1	業務			

総括情報表

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	61 千曲市 0 1 実施単価 53 1 4 北信(1) 07.06.01		
設計委託区分 消費税率(%) 発注区分 電子成果品作成費区分	当 世 代 01 設計・解析(技術経費無) 10 % 41 一般(建設コンサルタント) 01 概略・予備・詳細設計	前 世 代	

** 設計業務費 **

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 設計業務費 **					
道路構造物設計					
設計業務		式			
設計業務					
予備設計					
法面工予備設計					
詳細設計	1	箇所			施工 第0 -0001号表
アンカー付場所打ち法枠詳細設計 計画面積1000m ² 未満 予備設計有（概略設計計算無）断面数1	1	箇所			施工 第0 -0011号表
打合せ協議					

** 設計業務費 **

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
打合せ(土木設計業務) 中間打合せ1回	1	業務			施工 第0 -0018号表
** 直接人件費等 **					
** 電子成果品作成費 ** 概略・予備・詳細設計					
** 直接経費 **					
** 直接原価 **					
** その他原 価 **					
** 設計業務原価 **					
** 一般管理 費等 **					
** 設計業務価格計 **					

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
設計条件の確認	1.000	箇所			施工 第0-0002号表
比較形式選定	1.000	箇所			施工 第0-0003号表
概略設計計算	1.000	箇所			施工 第0-0004号表
概略設計図	1.000	箇所			施工 第0-0005号表
協議資料の作成	1.000	箇所			施工 第0-0006号表
概算工事費算出	1.000	箇所			施工 第0-0007号表
比較一覧表作成	1.000	箇所			施工 第0-0008号表
照査	1.000	箇所			施工 第0-0009号表
報告書作成	1.000	箇所			施工 第0-0010号表
*** 単位当り ***	1	箇所			
概略設計計算・概略設計図作成の簡略化：標準設計・既存資料等により簡略化できない					設計計画の有無：設計計画なし
設計条件の確認の有無：設計条件の確認あり					比較形式選定の有無：比較形式選定あり
概略設計計算の有無：概略設計計算あり					基礎工検討の有無：基礎工検討なし
概略設計図の有無：概略設計図あり					協議資料の作成の有無：協議資料の作成あり
概算工事費算出の有無：概算工事費算出あり					比較一覧表作成の有無：比較一覧表作成あり
照査の有無：照査あり					報告書作成の有無：報告書作成あり

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師(A) 内業	0.500	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：設計条件の確認			概略設計計算・概略設計図作成の簡略化：標準設計・既存資料等により簡略化できない		

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師(A) 内業	1.000	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：比較形式選定			概略設計計算・概略設計図作成の簡略化：標準設計・既存資料等により簡略化できない		

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師(A) 内業	0.500	人			
技師(B) 内業	1.000	人			
技師(C) 内業	1.500	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：概略設計計算			概略設計計算・概略設計図作成の簡略化：標準設計・既存資料等により簡略化できない		

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（B） 内業	0.500	人			
技師（C） 内業	1.000	人			
技術員 内業	1.500	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：概略設計図			概略設計計算・概略設計図作成の簡略化：標準設計・既存資料等により簡略化できない		

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（B） 内業	0.500	人			
技師（C） 内業	0.500	人			
技術員 内業	1.000	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：協議資料の作成			概略設計計算・概略設計図作成の簡略化：標準設計・既存資料等により簡略化できない		

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（B） 内業	0.500	人			
技師（C） 内業	1.000	人			
技術員 内業	1.500	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：概算工事費算出			概略設計計算・概略設計図作成の簡略化：標準設計・既存資料等により簡略化できない		

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（B） 内業	0.500	人			
技師（C） 内業	0.500	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：比較一覧表作成			概略設計計算・概略設計図作成の簡略化：標準設計・既存資料等により簡略化できない		

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 内業	1.000	人			
技師(A) 内業	0.500	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：照査			概略設計計算・概略設計図作成の簡略化：標準設計・既存資料等により簡略化できない		

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師(A) 内業	0.500	人			
技師(B) 内業	0.500	人			
技師(C) 内業	1.000	人			
技術員 内業	1.000	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：報告書作成			概略設計計算・概略設計図作成の簡略化：標準設計・既存資料等により簡略化できない		

施工内訳表

頁0-0015

アンカー付場所打ち法枠詳細設計
計画面積1000m²未満

予備設計有(概略設計計算無)断面数1

施工 第0 -0011号表

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
設計計画 スベリ安定計算あり	1.000	箇所			施工 第0-0012号表
設計計算 スベリ安定計算あり	1.000	箇所			施工 第0-0013号表
設計図 スベリ安定計算あり	1.000	箇所			施工 第0-0014号表
数量計算 スベリ安定計算あり	1.000	箇所			施工 第0-0015号表
照査 スベリ安定計算あり	1.000	箇所			施工 第0-0016号表
報告書作成 スベリ安定計算あり	1.000	箇所			施工 第0-0017号表
*** 単位当り ***	1	箇所			
構造物種別：アンカー付場所打ち法枠 予備設計の有無：予備設計あり(概略設計計算なし) 断面数：1					スベリ安定計算の有無：スベリ安定計算あり
設計条件の確認の有無：設計条件の確認なし					設計計画の有無：設計計画あり
設計図の有無：設計図あり					設計計算の有無：設計計算あり
照査の有無：照査あり					数量計算の有無：数量計算あり
					報告書作成の有無：報告書作成あり

施工内訳表

施工 第0 -0012号表

設計計画
スベリ安定計算あり

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 内業	1.000	人			
技師(A) 内業	0.500	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：設計計画 スベリ安定計算の有無：スベリ安定計算あり 計画面積(m ²):784					構造物種別：アンカー付場所打ち法枠 予備設計の有無：予備設計あり(概略設計計算なし) 断面数：1

施工内訳表

設計計算
スベリ安定計算あり

施工 第0 -0013号表

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（A） 内業	2.000	人			
技師（B） 内業	3.500	人			
技師（C） 内業	3.000	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：設計計算 スベリ安定計算の有無：スベリ安定計算あり 計画面積（m ² ）：784					構造物種別：アンカー付場所打ち法枠 予備設計の有無：予備設計あり（概略設計計算なし） 断面数：1

施工内訳表

施工 第0 -0014号表

設計図
スベリ安定計算あり

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（B） 内業	2.000	人			
技師（C） 内業	2.500	人			
技術員 内業	3.000	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：設計図 スベリ安定計算の有無：スベリ安定計算あり 計画面積（m ² ）：784					構造物種別：アンカー付場所打ち法枠 予備設計の有無：予備設計あり（概略設計計算なし） 断面数：1

施工内訳表

数量計算
スベリ安定計算あり

施工 第0 -0015号表

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（B） 内業	1.000	人			
技師（C） 内業	2.000	人			
技術員 内業	3.000	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：数量計算 スベリ安定計算の有無：スベリ安定計算あり 計画面積（m ² ）：784					構造物種別：アンカー付場所打ち法枠 予備設計の有無：予備設計あり（概略設計計算なし） 断面数：1

施工内訳表

照査
スベリ安定計算あり

施工 第0 -0016号表

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 内業	1.000	人			
技師（A） 内業	0.500	人			
技師（B） 内業	1.000	人			
技師（C） 内業	1.000	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：照査 スベリ安定計算の有無：スベリ安定計算あり 計画面積（m ² ）：784					構造物種別：アンカー付場所打ち法枠 予備設計の有無：予備設計あり（概略設計計算なし） 断面数：1

施工内訳表

施工 第0 -0017号表

報告書作成
スベリ安定計算あり

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（B） 内業	0.500	人			
技師（C） 内業	0.500	人			
技術員 内業	1.000	人			
直接人件費					
電子計算機使用料	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	箇所			
作業区分：報告書作成 スベリ安定計算の有無：スベリ安定計算あり 計画面積（m ² ）：784					構造物種別：アンカー付場所打ち法枠 予備設計の有無：予備設計あり（概略設計計算なし） 断面数：1

施工内訳表

施工 第0 -0018号表

打合せ（土木設計業務）
中間打合せ1回

1 業務 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 内業	1.500	人			
技師（A） 内業	1.500	人			
技師（B） 内業	1.500	人			
直接人件費					
*** 単位当り ***	1	業務			
中間打合せ回数（回）：1					

地質調査・設計業務特記仕様書

千曲市 経済部 農林課 森林整備係

第1章 総則

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は、令和7年度の下記事業に伴う地質調査業務委託に適用する。

事業名	路・河川名	地区	箇所名
令和6年度 農山漁村地域整備交付金事業 林道芝平樽滝線 調査・設計業務委託	林道芝平樽滝線	大字 倉科	

(業務管理)

第2条 受託者(以下「乙」という。)は、受託設計書、長野県林務部制定の長野県森林土木調査等業務仕様書、本特記仕様書、業務打合せ書及び関係法令を遵守し、指定した監督員の指示を受け正確に施行しなければならない。

(履行期間)

第3条 本委託の履行期間は、契約日から4ヶ月とする。

第2章 作業概要

(業務概要)

第4条 本作業は、陥没浸食が見られる法面崩壊地に対し、対策工の設計のために行うものであり業務内容及び業務委託条件は下記のとおりとする。

【一般調査】	
機械ボーリング	L= 19.0 m
標準貫入試験	N= 19 回
【解析等調査】	
地質解析	N= 1 業務 (岩盤Bo N=2本)
【法面工設計】	
得た解析結果より、崩壊地上部の対策工の設計をする。	
特記事項	
・調査箇所は監督員と協議のこと。	
・調査立ち入り時は、地権者の了解を得て実施のこと。	
・調査データは電子データ (CD-R) にて提出のこと。 (提出ファイル形式等は、監督員と協議すること)	

第3章 打ち合わせ及び検査（調査・解析）

（技術者について）

第5条 本作業の主任技術者には、技術士（応用理学部門（地質）又は建設部門（土質及び基礎）又は総合技術監理部門（建設—土質及び基礎））又はRCCM（地質部門又は土質及び基礎部門）又は認定技術管理者（地質又は土質及び基礎）あるいは地質調査技士の資格を有する者とする。

（品質保証）

第6条 本業務の成果品は、「規程」等の諸条件を満たさなければならない。業務完了後「乙」の過失又は、疎漏に起因する不良箇所が発見された場合は、速やかに訂正を行うものとする。

（打ち合わせ）

第7条 「乙」は、業務着手時、中間、納品とりまとめ時に監督員と打ち合わせを実施し、業務の進捗に支障のないようにするものとする。また、中間打ち合わせ及び成果品納入時には、管理技術者が立ち会うこと。

（検査）

第8条 「乙」は、業務中たえず点検及び品質管理を行い、業務の最終段階においては、全体的な点検、検査を行うものとする。

（成果品）

第9条 提出成果品の内容は地質・土質調査共通仕様書によるものとする。

1. 図面（白黒及びカラーコピー）を含む報告書 1部

2. 電子データ(CD-R) 2枚

* 電子納品に係る実施要領（千曲市）に則ること。

その他必要なものは、別途指示する。

（検証会議）

第10条 設計業務実施にあたり、本業務の妥当性を検証する会議を行う

ことがあり、発注者から参加の指示があった場合は、受託者は参加しなければならない。

また、検証会議において、委託成果品の内容に受託者の責に伴う業務のかしあるいは変更が生じた場合は、受託者は速やかに当該業務の補修及び修正を行い提出しなければならない。

第3章 打ち合わせ及び検査（設計）

（技術者について）

第5条 本作業の設計業務には、管理技術者及び照査技術者を定め、その技術者は、技術士建設部門（森林土木）、技術士総合技術監理部門（森林-森林土木）、認定技術管理者（森林土木）のいずれかの資格を有する者とする。

（品質保証）

第6条 本業務の成果品は、「規程」等の諸条件を満たさなければならない。業務完了後「乙」の過失又は、疎漏に起因する不良箇所が発見された場合は、速やかに訂正を行うものとする。

（打ち合わせ）

第7条 「乙」は、業務着手時、中間、納品とりまとめ時に監督員と打ち合わせを実施し、業務の進捗に支障のないようにするものとする。また、中間打ち合わせ及び成果品納入時には、管理技術者が立ち会うこと。

（検査）

第8条 「乙」は、業務中たえず点検及び品質管理を行い、業務の最終段階においては、全体的な点検、検査を行うものとする。

（成果品）

第9条 提出成果品の内容は地質・土質調査共通仕様書によるものとする。

1. 図面（白黒及びカラーコピー）を含む報告書 1部

2. 電子データ(CD-R) 2枚

* 電子納品に係る実施要領（千曲市）に則ること。

その他必要なものは、別途指示する。

（検証会議）

第10条 設計業務実施にあたり、本業務の妥当性を検証する会議を行うことがあり、発注者から参加の指示があった場合は、受託者は参加しなければならない。

また、検証会議において、委託成果品の内容に受託者の責に伴う業務のかしあるいは変更が生じた場合は、受託者は速やかに当該業務の補修及び修正を行い提出しなければならない。

電子納品に係る実施要領

(令和6年5月1日制定)

(目的)

第1 この要領は、千曲市の建設工事及び建設工事に係る測量設計業務等（以下、「工事等」という。）における電子納品を進めるための実施方法等を定め、公共工事におけるCALS/E Cの推進を図ることを目的とする。

(電子納品の定義)

第2 「電子納品」とは、調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することで、業務の次段階における活用を容易にし、品質の向上や業務の効率化を図ることをいう。ここでいう電子データとは、各電子納品要領（案）等に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

(対象工事等)

第3 原則として全ての工事等を対象とする。ただし、発注者が不要と認めた場合はこの限りでない。

(対象成果品)

第4 電子納品の対象となる成果品は、次に規定される成果品とする。

- ・土木工事共通仕様書（施工管理基準、写真管理基準等を含む）
- ・測量業務共通仕様書
- ・地質・土質調査共通仕様書
- ・設計業務共通仕様書
- ・用地調査等共通仕様書（第3章～第3章の7に該当するもの）

(経費の取り扱い)

第5 電子納品の作成に係る経費の取り扱いは以下のとおりとする。なお、第11で規定する成果品の提出部数によらない場合は、特記仕様書に明示するほか、別途、必要経費を考慮するものとする。

- 1) 工事：共通仮設費率に含まれるものとする。
- 2) 業務：各分野の積算基準で定める「電子成果品作成費」を計上するものとする。

(要領・基準)

第6 千曲市の電子納品は、特に記載のない限り国土交通省の電子納品要領及び関連基準（以下「要領・基準類」という。）を準用する。【別記】

(運用に関する手引き)

第7 千曲市の電子納品に関する下記事項等の運用については、別に定める「運用の手引き」による。【別記】これに定めのない事項については、国土交通省の「電子納品等運用ガイドライン[土木工事編]、電子納品運用ガイドライン[業務編]」に準じて受発注者間で協議して定めることとする。

- ・要領・基準類の千曲市での読み替え
- ・受発注者間で協議確認する際に使用する「チェックシート」
- ・電子納品対象書類の範囲

- ・電子ファイルのアプリケーションソフト、バージョン
- ・施工中の書類の取り扱い
- ・電子成果品の保管管理
- ・千曲市工事では、完成図面（100%出来形展開図等）、工事写真を電子納品の対象とし、原則1枚の納品媒体に格納することとします。格納された各データは、1つの工事管理ファイル（index_c.xml、 index_d.xml）により管理されるものとします。

（協議確認事項）

第8 電子納品の実施にあたり、受発注者間で協議・確認すべき内容をチェックシートにより行う。

○事前協議

工事等の着手時に、期間中の電子納品に関する疑問を解消し円滑に電子納品を実施するため、「事前協議チェックシート」を用いて受発注者間で電子納品の対象書類やファイル形式について協議。

（納品媒体）

第9 納品する電子媒体は基本的にCD-RもしくはDVD-Rとする。CD-Rの論理ファイルフォーマット形式はJoliet※とし、DVD-Rの論理ファイルフォーマット形式は、UDF（UDF Bridge）とする。なお、中途における情報のやり取りについては、受発注者協議の上、他の電子媒体を認めることとする。

（納品物のチェック）

第10 受注者は、電子成果物を納品する前に、必ず国土交通省から提供される最新版の「電子納品チェックシステム」によりチェックを行い、エラーを解消させることとする。また、ウィルスチェックを行い、ウィルスが検出されないことを確認することとする。

（工事等完成図書の提出部数）

第11 建設工事電子データにより納品する成果品については、電子データを格納した電子媒体をもって原図・原稿及び製本に代えるものとし、提出部数は以下のとおりとする。

①工事完成図書

電子納品対象書類	電子媒体（CD-R・DVD-R）	2部（正・副）
	紙媒体 工事写真のうち「着手前・完成」	1部（その他協議による）
上記以外	紙媒体	1部

②業務完成図書書類	電子媒体（CD-R・DVD-R）	2部（正・副）
	紙媒体	1部

・電子媒体ラベルへの記載項目のうち、工事等名称については、路河川名及び市町村名、字名を含むものとする。

（電子納品の検査）

第12 電子成果品の書類検査は、電子データで検査することを原則とし、必要がある場合に限り紙での出力により対応する。検査に必要な機器の準備は、原則として受注者が行う。機器の操作は、受注者が主に行い、発注者は操作補助を行う。

（適用）

第13 この要領は、令和6年5月1日以降に入札公告を行う工事等から適用する。

※ J o l i e t (ジョリエット)

マイクロソフト社が設計した、ISO9660 の拡張規格であり、1 文字 2 バイトで表現する Unicode を採用し、128 バイト (64 文字) までの長いファイル名に対応しています。流通しているほとんどの OS が対応しており、Joliet を利用できないシステムでも ISO 9660 レベル 1 として読み込めるようになっていることから、ワープロソフト等で一般的になった 4 文字の拡張子に対応するため、電子納品に関する要領・基準での標準として採用しました。

(国土交通省電子納品運用ガイドラインによる)

【別記】千曲市が準用する「要領・基準類」及び「運用に関する手引き」等

(令和6年4月1日現在)

○国土交通省「要領・基準類」は以下のとおり。

要領・基準

- | | |
|-------------------|----------|
| ・ 工事完成図書の電子納品等要領 | 令和5年3月 |
| ・ 土木設計業務等の電子納品要領 | 令和5年3月 |
| ・ CAD製図基準 | 平成29年3月 |
| ・ デジタル写真管理情報基準 | 令和5年3月 |
| ・ 測量成果電子納品要領 | 令和3年3月 |
| ・ 地質・土質調査成果電子納品要領 | 平成28年10月 |

ガイドライン類

- | | |
|--------------------------|---------|
| ・ 電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】 | 令和5年3月 |
| ・ 電子納品運用ガイドライン【業務編】 | 令和5年3月 |
| ・ CAD製図基準に関する運用ガイドライン | 平成29年3月 |
| ・ 電子納品運用ガイドライン【測量編】 | 令和3年3月 |
| ・ 電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】 | 平成30年3月 |

○国土交通省関東地方整備局「運用に関する手引き」は以下のとおり。

- | | |
|-------------------------|----------|
| ・ 電子納品に関する手引き（案）[土木工事編] | 平成21年10月 |
| ・ 電子納品に関する手引き（案）[業務編] | 平成21年10月 |

○納品時に使用するチェックシステムは以下のとおり。

- ・ 国土交通省から提供される電子納品チェックシステムの最新版
- ・ OCFの「SXF確認機能検定」に合格したソフトウェア
(CAD製図基準に基づいて作成された図面を見る場合)

○千曲市工事では、完成図面（100%出来形展開図等）、工事写真を電子納品の対象とし、原則1枚の納品媒体に格納することとします。格納された各データは、1つの工事管理ファイル（index_c.xml、index_d.xml）により管理されるものとします。

<参考資料>

- 国土交通省「電子納品に関する要領・基準」
<http://www.cals-ed.go.jp/youryou-rev-20230323>
- 電子納品チェックシステム http://www.cals-ed.go.jp/edc_download/



ボーリング調査位置図 S= 1 : 100

IP	A	I A				TL	SL	CL	IP-L	幅員			備和区間	備要
		L	R	R	R					MC	BC	EC		
IP 1	111-38	68-22			12.2	8.3	2.55	14.6	8.3	2.25	2.00	2.00		8.0
IP 2	120-16	59-44			12.2	7.0	1.97	12.7	15.3	2.25	2.00	2.00		8.0
									26.5					

- 注1 センターが既設構造物から当初どおりの幅員が取れない場合、線形の修正を行うこと
- 注2 崩土除去を行った結果、土質の状況により工種及び施工範囲の変更が生じる場合がある
- 注3 上記について、監督員と協議すること

既設橋断面
既設排水溝
既設L型側溝

既設路側ブロック塀

BM1 871.68

⊕ 大型土のう

ボーリング調査②

ボーリング調査①

路線名	芝平樽滝線	事業名	農山漁村地域整備交付金事業
林道区分	幹線	級別区分	第2種2級
年度	令和6年度	設計速度	20 km
名称	平面展開図 (1-1) 1 葉中 1 番		
施工地	千曲市 大字 倉科		
縮尺	1:100	審査者	設計者